

新仙台市天文台整備・運営事業



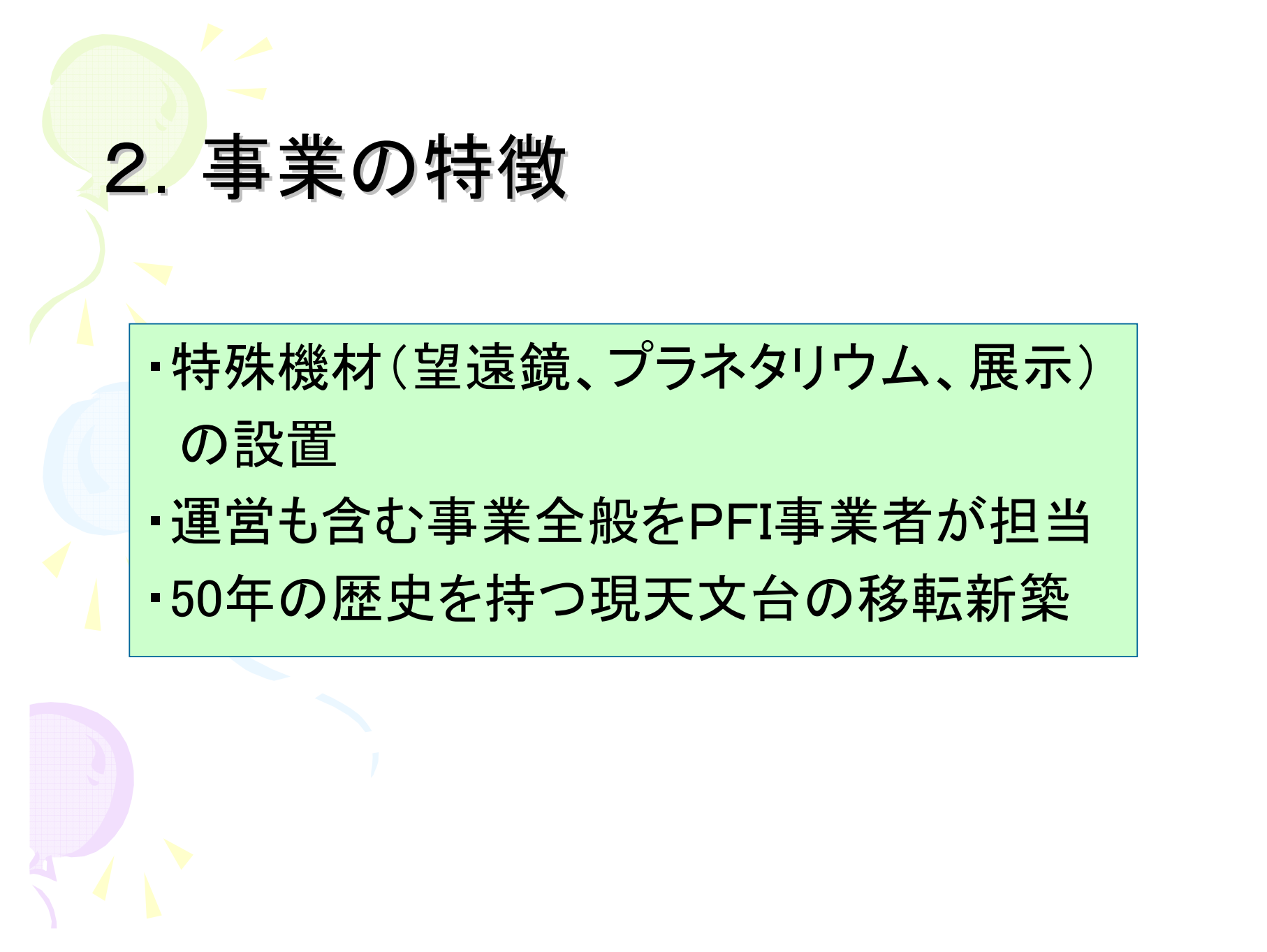
仙 台 市

1. 経過

- ・施設の老朽化
- ・光害など観測環境の悪化
- ・地下鉄東西線の計画ルート上に位置

移転の必要性

平成13年8月：基本構想の策定
平成14年6月：基本計画の策定



2. 事業の特徴

- ・特殊機材（望遠鏡、プラネタリウム、展示）
の設置
- ・運営も含む事業全般をPFI事業者が担当
- ・50年の歴史を持つ現天文台の移転新築

3. 開館までの事業スケジュール

平成14年8月～平成15年3月

PFI手法導入可能性調査

平成16年2月

実施方針及び要求水準書
案の公表

平成16年5月

特定事業選定

平成16年7月

入札公告及び事業契約書
案の公表

平成16年11月

入札(2グループの参加)

平成17年2月

落札者決定

平成17年4月 仮契約締結

平成17年6月 本契約締結

(市議会第2回定例会で議決)

平成17年6月～平成17年8月

基本設計

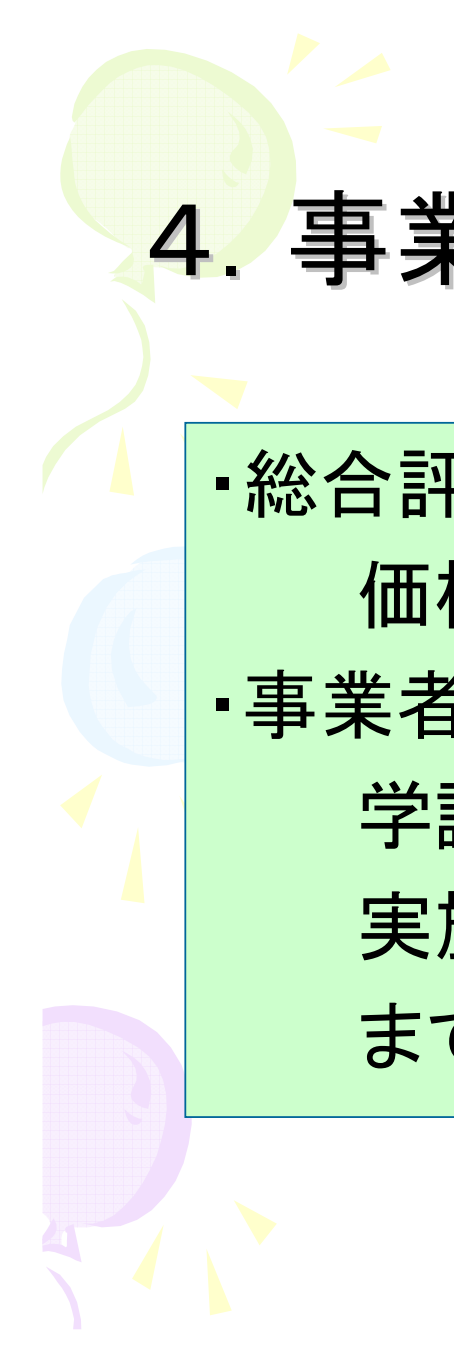
平成17年9月～平成18年4月

実施設計

平成18年5月～平成19年12月

建設工事、特殊機材等の設置

平成20年7月 開館



4. 事業者の選定方法

- ・総合評価一般競争入札

価格点：提案審査点＝3：7

- ・事業者選定委員会

学識経験者等5名

実施方針策定時から優秀提案の選定
まで11回開催

5. 事業概要

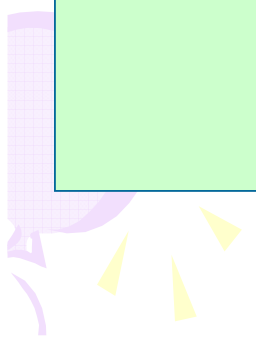
- 事業方式: BOT方式(事業期間終了後に施設を市に無償譲渡)
- 事業形態: サービス購入型(入館料金等は市が設定し、市の収入とする)
- 事業期間: 平成17年6月～平成50年3月
約33年間
- 事業内容: 天文台施設の設計・建設・維持管理
・運営(独立採算による売店運営を含む)

6. 施設整備概要

- 事業地：仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目29-32
- 敷地面積：25,039.76m²
- 延床面積：5,915.42m²
- 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建
- 主要設備：大型望遠鏡(口径130cm)、
太陽望遠鏡(6連式)、
市民観察用望遠鏡(6種、据付)
プラネタリウム(ドーム径25m)
展示(屋内・屋外)



○主要諸室：大型望遠鏡觀測室、
太陽望遠鏡觀測室、
市民觀察室、
プラネタリウム室（280席）、
番組制作室、
展示室（約1,200m²）、
事前研修室、指導準備室
図書室、学習室 等



7. 運営業務内容

- 天体観望会運営業務
- 観測業務
- プラネタリウム運営業務
- 学校教育支援業務
- 団体利用対応業務
- 大型望遠鏡説明業務
- ボランティア活動支援業務
- 天文学普及啓発業務
- 観測機材の館外貸出し業務

(●印は、開館当初の一定期間、市職員が担当)

8. PFIの効果

- ・市の財政支出の縮減及び支払金額の平準化
[VFM:12.9%]
- ・運營業務を考慮した施設計画
- ・施設利用者の利便性を考慮した計画的な修繕
- ・複数のモニタリングによるサービス水準の維持
- ・専門的知識・技術を持つ人材の継続的な確保
- ・要求水準を超えた新しいアイデア